

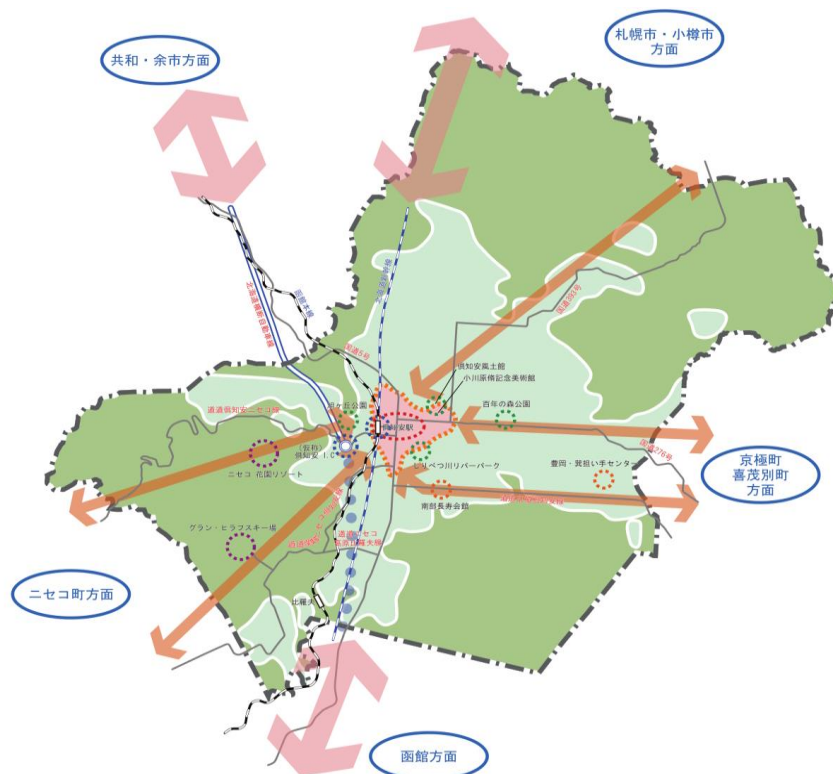
俱知安町新幹線まちづくり整備構想 検討資料(抜粋版)

1. まちづくりで目指す姿

倶知安町では、提言書を受け、北海道新幹線倶知安駅の開業に向けた、まちづくりのあり方について検討を行い、コンセプトである「人がつながり地域がつながる新幹線まちづくり ～みんなで進める新幹線駅周辺整備とにぎわいの創出～」を目指し、この整備構想を取りまとめました。

(1) 倶知安町を取り巻く環境と課題

①高規格道路 IC と整備新幹線駅開業による倶知安駅の広域ネットワークにおける拠点としての重要性の高まりと広域交通網充実の必要性



凡 例						
骨格的エリア区分		連携軸	拠 点	その他		
	市街地エリア		広域連携軸		広域都市拠点	 鉄道（新幹線）
	集落地・農地エリア		都市間連携軸		文化・レクリエーション拠点	 鉄道（函館本線）
	自然（山地）エリア				国際リゾート拠点	 高速道路（事業中）
					広域交通結節点	 高速道路（計画）
						 一般道路

出典：倶知安町都市計画マスタープラン（2018.3）p.48

②旺盛な観光需要、開発需要等による都市構造変化への対応と地域の玄関口としての駅前空間の必要性

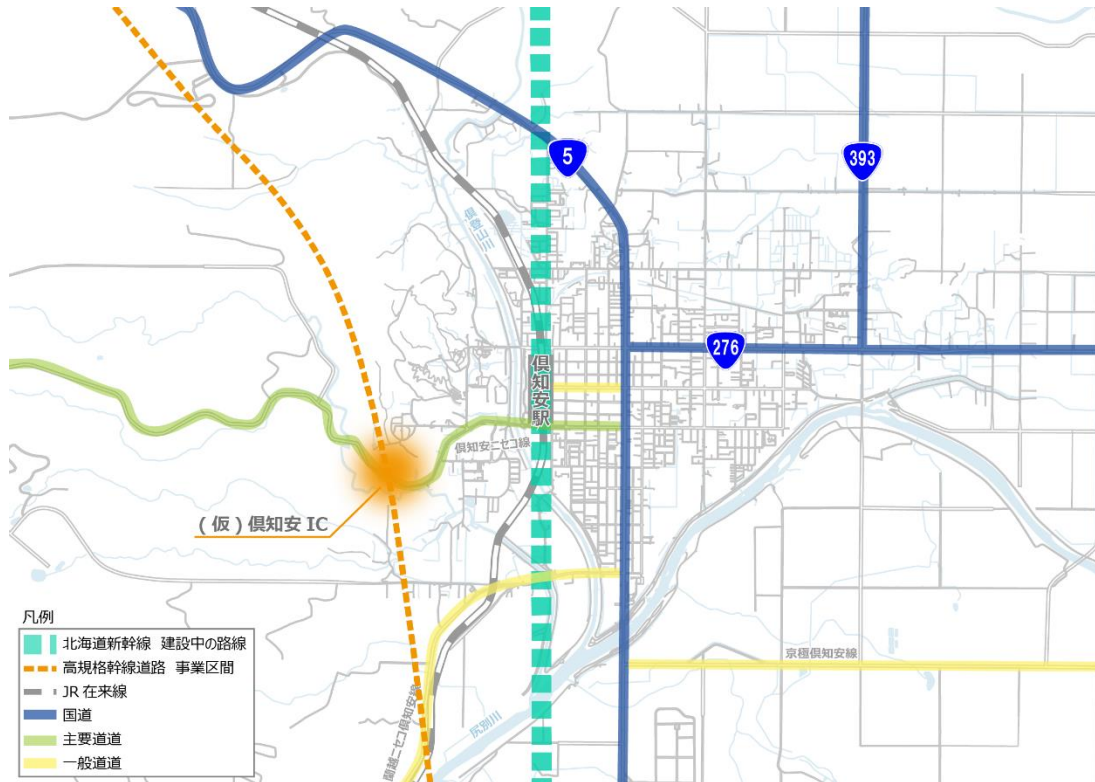


図 1-1 俱知安町内の新幹線ルート

2. まちづくりの基本方針

駅周辺におけるまちづくりのコンセプトの実現に向けて、これからの駅周辺のまちづくりを次の3つの方針で進めていきます。

(1) 土地利用に関する方針—まちの賑わいを生かしてつなぐ

①賑わい拠点と駅をつなぐ	・ 駅から賑わい拠点の駅前通りおよび商店街へ一体的な空間化 ・ 駅舎の都市施設は最低限（お土産の販売・軽食、観光案内、クロークサービス」など） ・ 来訪者が駅から駅前通りへ気持ちよく誘導できる広場の整備
②景観維持と都市機能の確保	・ 駅から近いところに宿泊施設を誘導しつつ、街並み維持 ・ 商業エリア及びその周辺における高さ制限
③駅と旭ヶ丘公園と一体となった空間整備	・ 旭ヶ丘公園を風景として取り込んだ自然豊かな街・駅を印象づけることができる空間

(2) 駅関連施設整備に関する方針—誰でも使いやすいターミナル形成

①初来訪者でも外国の方でもわかりやすい乗換空間形成	・ 路線バス、高速バスなどのバスベイ ・ タクシーベイ ・ コミュニティバス の乗降場
②地域住民の利用しやすい駐停車場整備	・ 住民が送迎できるスペースの確保（K&R 停車所） ・ 住民の駅利用者が駐車しておける P&R 駐車場
③様々な観光形態に対応した駐車場整備	・ 修学旅行などの団体に対応できる大型車両の駐車場 ・ 宿泊施設関係者が円滑に送迎できる駐車場
④豪雪地帯に配慮した空間化	・ 新幹線高架下の有効活用 ・ 屋根等設置の検討
⑤来訪者を駅から駅前通りへ誘導できる広場整備	・ 街へ気持ちよく誘導することができる空間

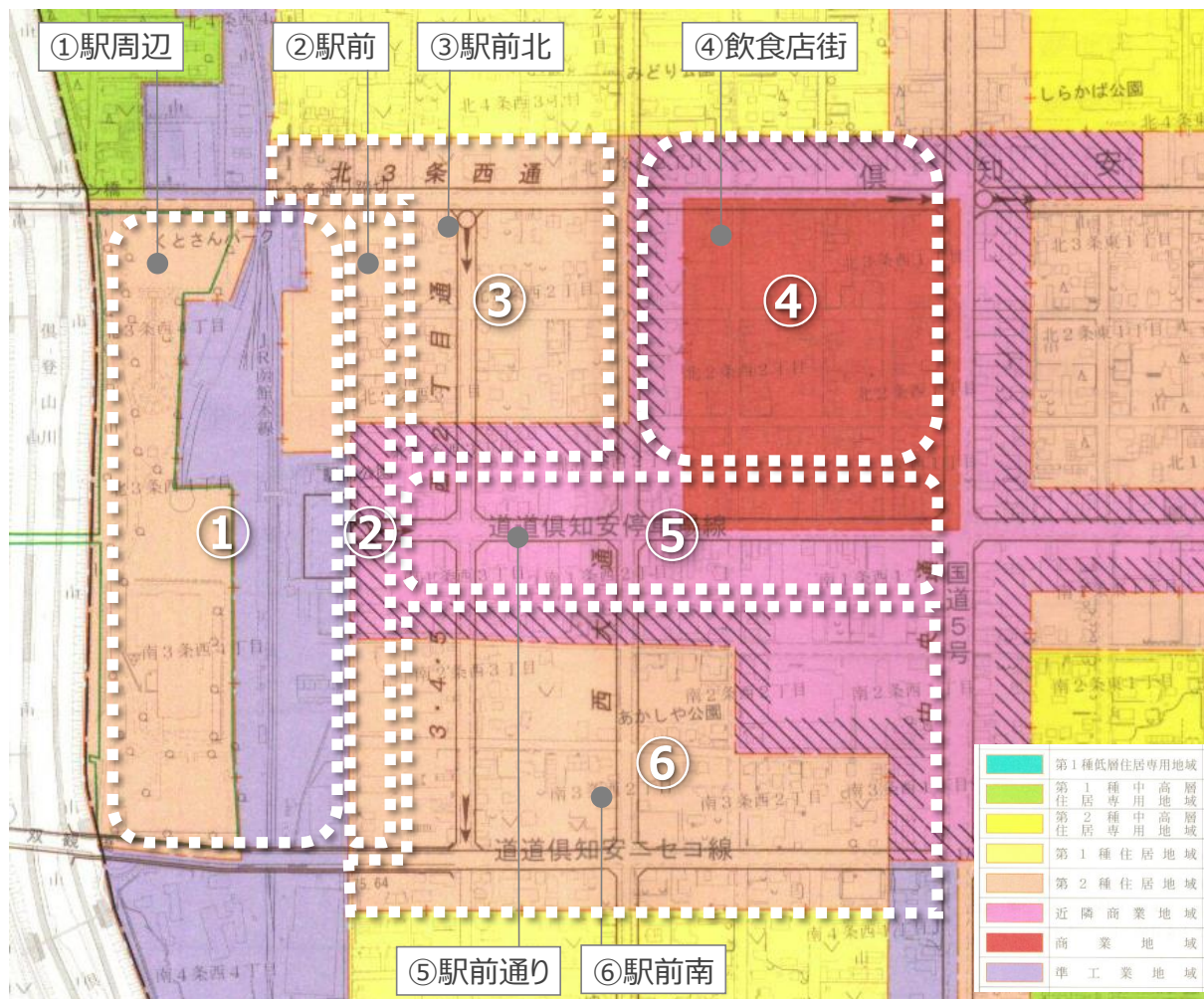
(3) 交通ネットワークに関する方針—円滑で安全な広域的交通結節点の形成

①多様な交通手段により集中する駅周辺の交通の適切な処理	・ 交通手段の特徴に応じた主要動線の分離 ・ 駅から連続して駅前通に移動できる動線の確保 ・ 歩きやすい駅前通り
②交通ネットワークの強化	・ ひらふや羊蹄山麓市町村等、近隣市町村その他各方面から駅へのアクセス性を改善する道路改良（幅員の確保） ・ 駅と IC を大幅な迂回なく円滑に接続可能な道路整備

3. 整備方針

(1) ゾーニングとゾーンごとの機能誘導（イメージ）

駅前を大きく 6 つのゾーンに分け、どのような機能を誘導すべきかイメージを示します。



① 駅周辺

駅・公共施設・店舗などがあります。

新幹線駅の整備に伴い、駅前広場や駅利用者の駐車場整備が必要です。合わせて、車両での駅アクセスをスムーズにするための道路整備も必要です。

② 駅前

宿泊施設・事務所・住居などがあります。

北側には住居や宿泊施設、南側には事務所などがあり同じ駅前でも利用状況が異なっています。新幹線での来訪者にとって最初に目に留まるエリアであり、まちの印象を決める場所であると言えます。俱知安らしさ創出のため、統一感のある景観形成などについて検討が必要です。

③ 駅前北

住居・店舗・事務所などがあります。

コンパクトなまちづくりの一つとして、住むところと商売するところを混在させるという手法があり、当エリアは特にその状況になっていると言えます。これまで通り、町民の利便性の高いエリアとして維持する一方で、特に南側が駅にも飲食店街にも近いため、町民にも来訪者にも利便性の良いエリアとなるため、中高層の住居や宿泊施設の集積の可能性について検討が必要です。

④ 飲食店街

飲食店などがあります。

まちなかにおける夜の賑わいを創出しているエリアです。これまで通り、賑わいの創出エリアとして維持する必要があります。

⑤ 駅前通り

中小規模の店舗・飲食店などがあります。

まちなかにおける昼の賑わいを創出し、また、イベントで多くの町民が利用するなど、日常と非日常の利用が混在しているエリアです。特に日常のさらなる賑わい創出のため、活性化方策の検討を行う必要があります。

⑥ 駅前南

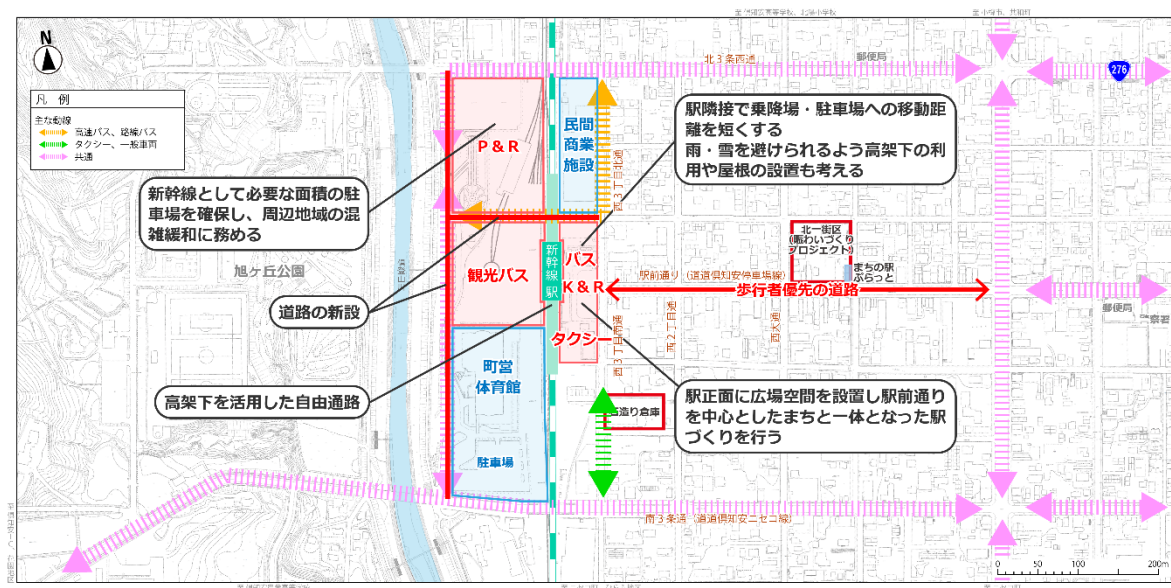
中規模の店舗・事務所・宿泊施設などがあります。

他のエリアに比べると未利用地や使われていない建物があります。飲食店街・駅前通りに近く、またインターチェンジへのアクセスも良いので、中高層の宿泊施設等の集積の可能性について検討が必要です。

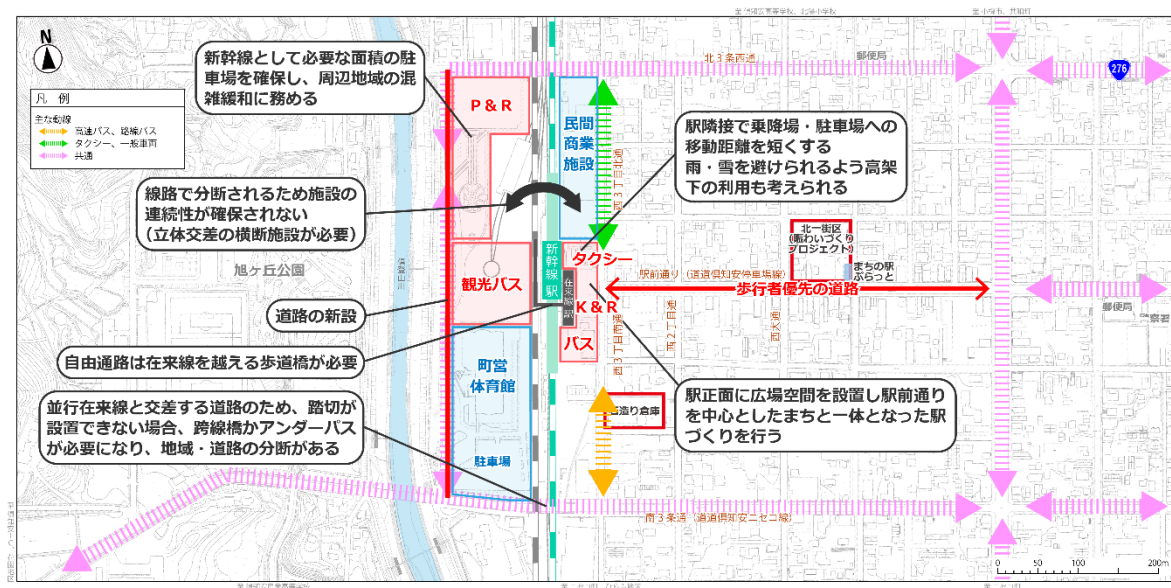
(2) 駅関連施設整備

- ①初来訪者でも外国の方でもわかりやすい乗換空間の創出
- ②地域住民の利用しやすい駐停車場整備
- ③様々な観光形態に対応した駐車場整備
- ④豪雪地帯に配慮した空間化
- ⑤来訪者を駅から駅前通りへ誘導できる広場整備

【並行在来線が廃止の場合】

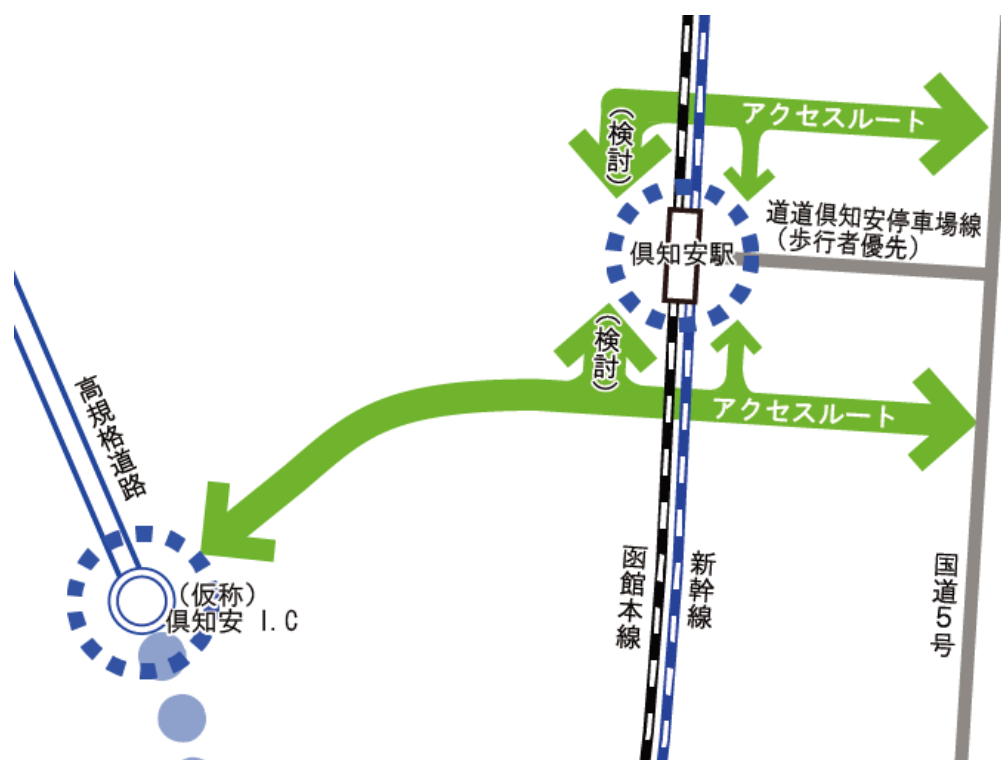


【並行在来線が存続の場合】



(3) 交通ネットワーク

2030 年度末（平成 42 年度末）の新幹線駅開業、平成 30 年代後半には高規格道路（倶知安余市道路）のインターチェンジ開通も開通され、本町への交通流の増加が予想され、IC と市街地中心部への円滑な移動ができるようにする必要があります。また、駅へ向かう主要道路の改良等によるアクセスの改善を図ります。



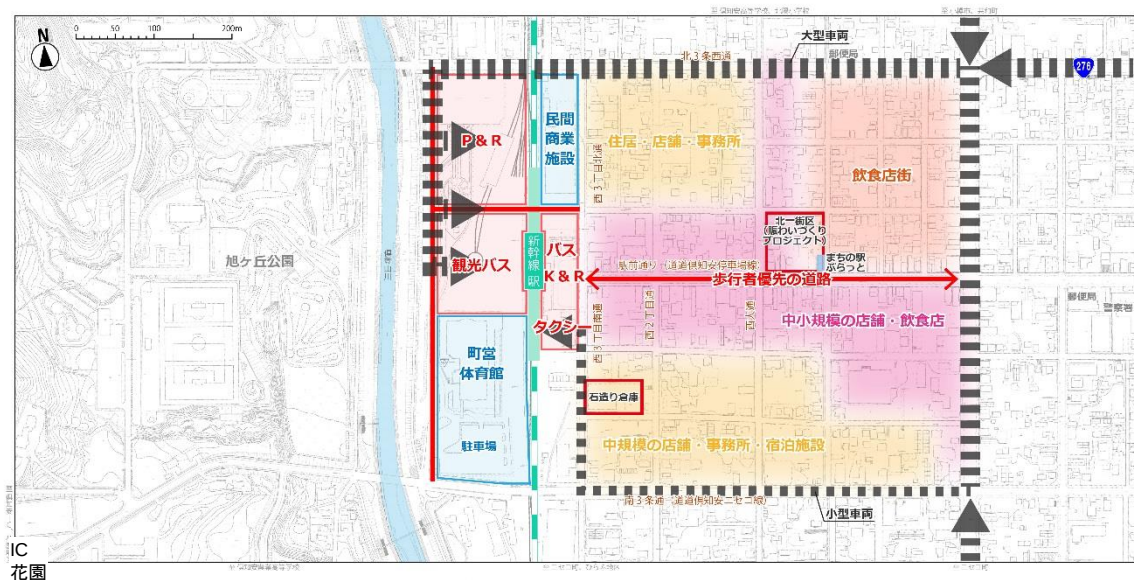
出典：倶知安町都市計画マスタープラン（2018.3）、p.56

図 3-1 倶知安駅へのアクセス道路のイメージ

①町内・周辺地域から駅へのアクセス

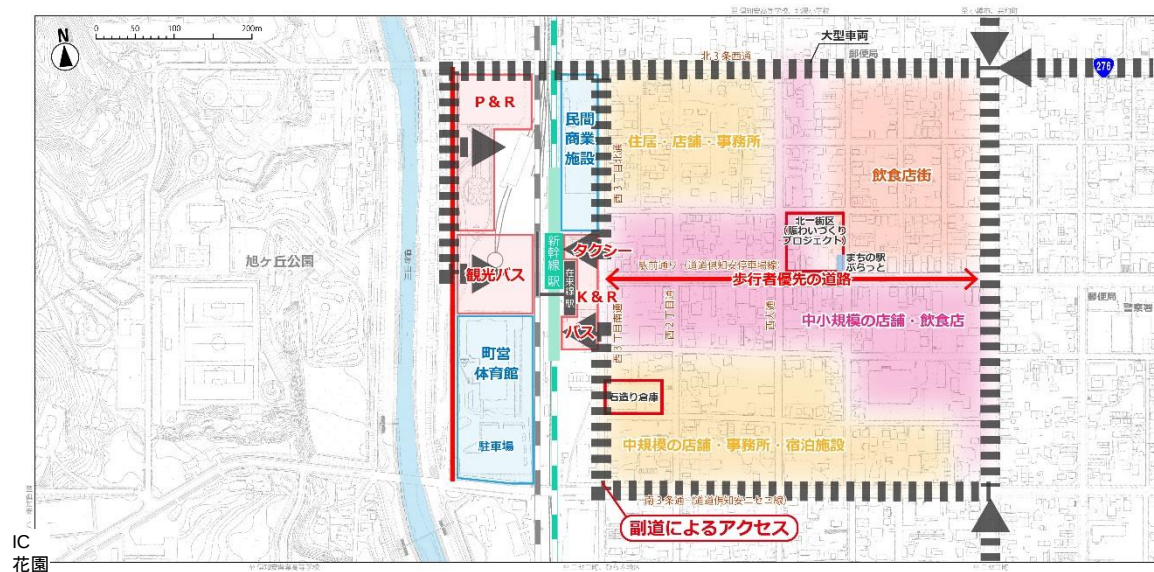
【並行在来線が廃止の場合】

町内、周辺地域から倶知安駅周辺へのアクセス路は、路線バス、P&R利用・団体バスは北3条西通を使用し、それぞれ東側からと西側からのアクセスになり、タクシー・送迎車両などは道道倶知安ニセコ線を使用し東側からのアクセスとなります。



【並行在来線が存続の場合】

町内、周辺地域から倶知安駅周辺へのアクセス路は、交通を分散させるため路線バス、パークアンドライド利用・団体バスは北3条西通を使用し、それぞれ東側からと西側からのアクセスになり、タクシー・送迎車両などは道道倶知安ニセコ線を使用し東側からのアクセスが必要です。

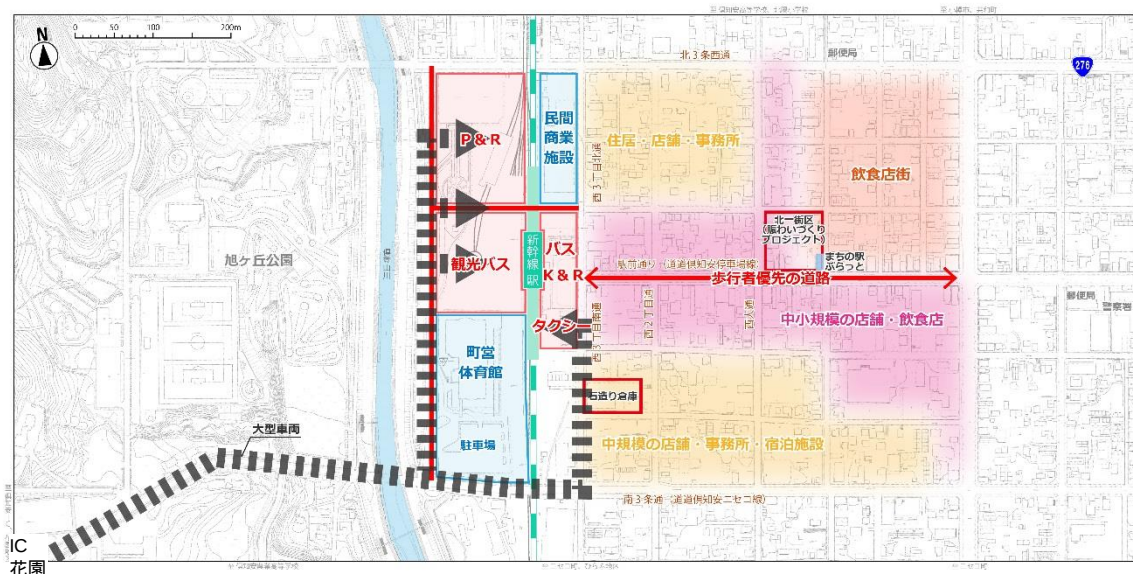


②倶知安 IC（仮称）、花園方面から駅へのアクセス

町内の循環バスであるじゃがりん号は、北一街区やその他の施設を經由して駅へアクセスをするルート在市街地内に設定し、町民の身近な足としての利便性を図ります。

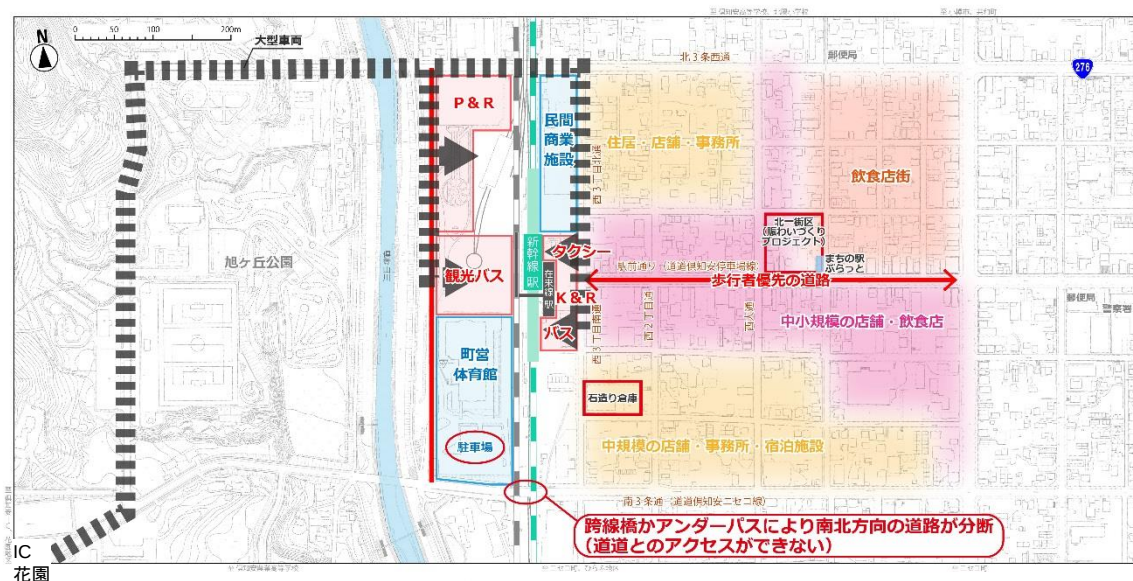
【並行在来線が廃止の場合】

倶知安 IC（仮称）、花園方面から倶知安駅周辺へのアクセス路は、道道倶知安ニセコ線になり、路線バス・タクシー・送迎車両（K&R 停車所）などは駅東側から、P&R 利用・団体バスなどは駅西側から分散した動線を確認します。



【並行在来線が存続の場合】

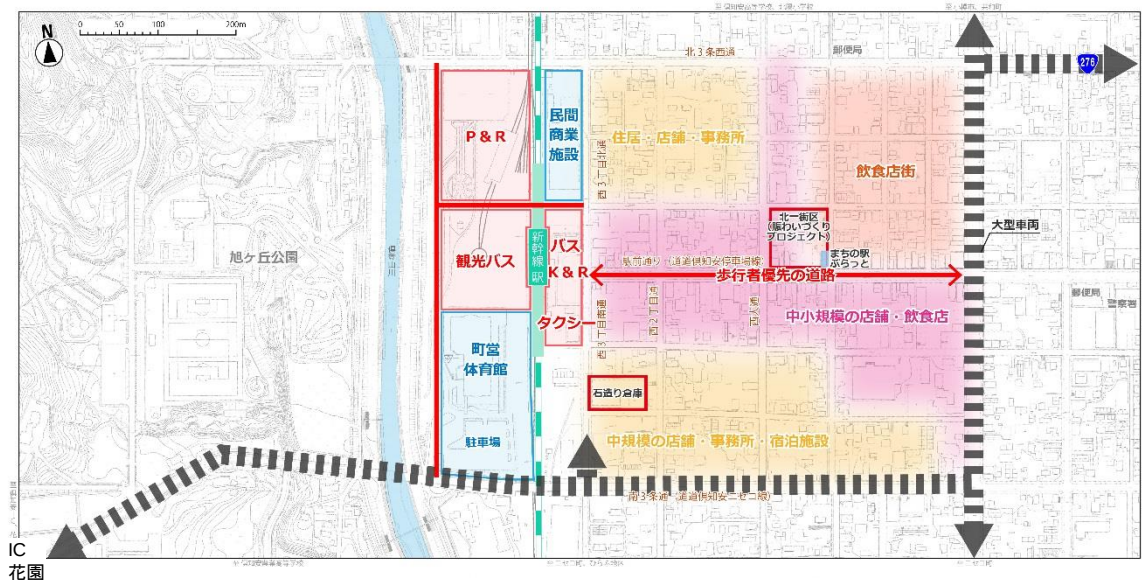
倶知安 IC（仮称）、花園方面から倶知安駅周辺へのアクセス路は、道道倶知安ニセコ線を通行し国道からになり、路線バス・タクシー・送迎車両などは駅東側から、パークアンドライド利用・団体バスなどは駅西側からアクセスすることになります。



③俱知安 IC（仮称）、花園方面から町内・周辺地域へのアクセス

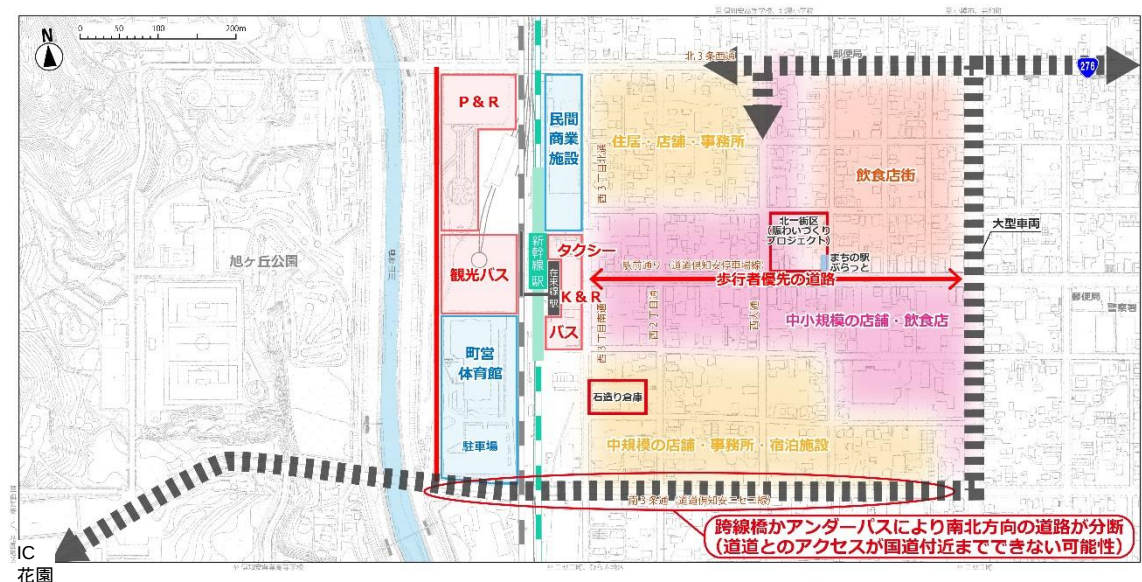
【並行在来線が廃止の場合】

俱知安 IC（仮称）、花園方面から町内・周辺地域へのアクセスは、道道俱知安ニセコ線を使用します。

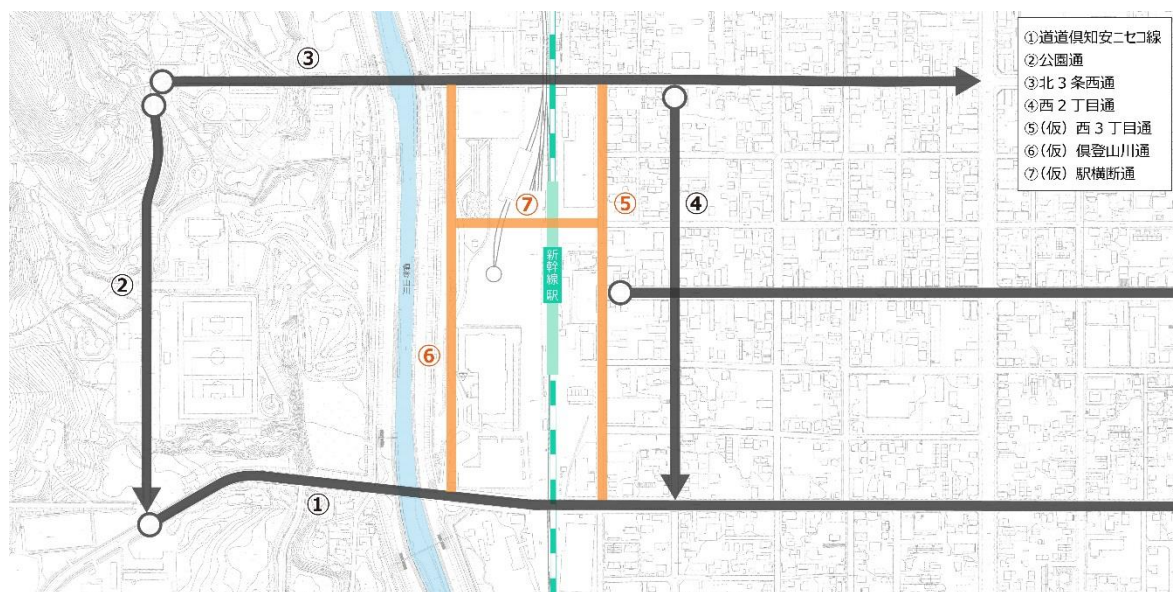


【並行在来線が存続の場合】

並行在来線が存続する場合には、道道俱知安ニセコ線が跨線橋かアンダーパスのため、西1丁目南通、町営体育館横の道路へ直接アクセスできなくなり、駅や駅前通り沿線等へ直接アクセスできなくなり、駅やまちなかへ遠回りの動線となります。



④道路整備の必要性



- ①道道倶知安ニセコ線
- ②公園通
- ③北3条西通
- ④西2丁目通
- ⑤(仮)西3丁目通
- ⑥(仮)倶登山川通
- ⑦(仮)駅横断(在来線廃止の場合)

【補足】

倶知安駅を核とするインバウンド等対応策検討協議会

インバウンドを含めた観光、それを活かした広域的なまちづくりに寄与できるよう関係自治体、知見者から意見をいただき今後の駅の高架橋、駅舎の設計に反映。

年4回の協議会(現地視察含む)を開催し、協議会での意見を取りまとめ設計の基本方針(素案)を策定。

●事務局 鉄道・運輸機構 北海道

今年度実施状況

①第一回倶知安駅を核とするインバウンド等対応検討協議会 H30.6.7 開催

- ・講演「インバウンド国外先進駅の事例について」
- ・倶知安駅等整備計画について(進捗状況)

②第二回協議会(現地視察)

- ・H30.8.22~23

JR 長野、JR 飯山、JR 糸魚川、JR 黒部宇奈月温泉、JR 金沢

- ・H30.8.29~30

JJR 上田、JR 上越妙高、JR 富山、JR 新高岡

③第三回協議会 H30.11.2 開催

- ・駅舎及び周辺整備に向けた視点と課題
- ・新幹線駅の整備及び設計方針(素案)等

④第四回協議会 H31.2.1 開催

- ・新幹線駅の整備及び設計の基本方針等